

2022—2023年度
国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2730地区ガバナー 山ノ内 文治
鹿児島市内ガバナー補佐 Aグループ 上野 欣一
Bグループ 宮内 秀人



第2730地区 鹿児島サザンウインドロータリークラブ

事務局・例会場 ホテルレクストン鹿児島 2022-2023年度
〒892-0844 鹿児島市山之口町4-16 4A 会 長 水流純大
TEL 090-5295-2736 会長エレクト 小川ちえみ
FAX 099-210-7887 幹 事 森迫直子
例会日 1ヶ月3回 木曜日 12:30~13:30 編 集 会報・広報委員会
Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp HP https://ksw-rc.org

第1158回例会 2023年(令和5年) 2月16日(木) 本日のプログラム「 職場訪問例会(南部清掃工場)」 VOL.27-24

前回第1157回例会(2/9(木))の報告 於: ホテルレクストン

【会長挨拶】 会長 水流純大

皆さんこんにちは。

ジェニファー・ジョーンズRI会長が今年度最も力を入れたいこととしているのが「DEI」すなわち「Diversity(多様性)」「Equity(公正性)」「Inclusion(包摂)」です。私は知的障害や発達障害のある人を支援することを生業としておりますので、「多様性を認め、皆が公平な機会を保障され、社会の中に包摂していく」という「DEI」の考え方は私の職業とたいへん親和性が高く、会長アドレスの中でもそれに関連することを何度かお話ししてきました。

本日は、外部卓話として私の運営するグループホームに居住している利用者のお二人に話をしてもらおう機会を設けさせていただきました。その理由は、障害のある人と接したことの無い人の多くがある種の誤解を持っていると感じているからです。曰く「彼らは誰かの援助に頼ってもっぱら受身的に生きており、主体的な考えや意思はないのではないか」、曰く「彼らは自分たち健常者とは異なる世界で生きる存在であり、そのほうが彼らにとって幸せなのではないか」等々です。

私が現在施設長を務めているあさひが丘学園は今から65年前の1958年に鹿児島市永吉町に創設されましたが、私が生まれた1964年当時は、私たち家族の住まいも施設の中にあつたため、私は生まれてからの10年間、施設の中で彼らとともに育ちました。赤ん坊のころに世話をしてもらい、小学生になってからキャッチボールの相手をしてくれたのもすべて知的障害のある施設の園児でした。そのような環境で育ちましたので、私は彼らが知的にハンディキャップがあるために日常生活の一部において援

助を必要としている一方で、私たちと同じように自分の考えや意思、夢や希望、言い分があることは自然と理解していました。また、職業として彼らと接するようになってからは、私たち健常者と呼ばれる人間にはない優れた感性や純粋さなど数々の長所があることを実感してきました。

しかしながら、世の中の多くの人はそのようには思っていない。その理由はただ一つ、彼らと接する機会があまりにも少ないことによります。接することがないから、その人たちのことが分からず、分からないから遠ざかり、あるいは遠ざけ、自分たちとは違う世界に住む特別な人間として誤解や偏見を持ってしまふのだと思います。

第1137回例会の会長アドレスでもお話ししましたが、幼児教育や保育の世界ではインクルーシブ教育や保育が進みつつあります。知的障害や発達障害があるため、私の法人で運営している児童発達支援事業所に通って来る子どもたちの大部分は幼稚園や保育所、認定こども園にも通っているいわゆる「並行通園」の子どもたちです。ここでは子ども同士の自然なふれあいや関わりが生まれ、その関係性の中で自然に自分と他者との違いを認め、そして同時に自分と他者との共通点を認めることによりお互いを受け入れていく関係性が生まれていきます。しかしながら、学齢期以降、また、社会に出てからの状態は、国際ロータリーが目指すインクルージョンが進んでいるとはとても言えない状況です。

そういう意味では今日二人の話を皆さんに直接聞いていただくことはたいへん意義あることと思っています。後ほどご本人たちから詳しく話があると思いますが、私は二人が小学生の時から付き合っており、二人ともあさひが丘学園で少年期、青年期を過ごし、特別支援学校

卒業後はグループホームで生活し、古田さんは南国殖産で、岩元さんはワークステージつばさという就労支援事業所で働いています。彼らは決して一方的に援助を受けて受身的に生活をしているのではなく、自分の持てる能力を発揮して働き、税金や社会保険料を納め、自分の考えや意思、夢や希望を持っている普通の人たちです。ぜひ、二人の話に耳を傾けてほしいと思います。

二人の話に先立って、知的障害者のグループホームの概要を管理者である水流大樹(私の長男ですが)からご説明し、そのあとお二人に話しをしてもらいたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

以上で、会長アドレスを終わります。ありがとうございました。

【幹事報告】 幹事 森迫直子

①来週、2/16の例会は職場訪問例会です。10:40に鹿児島市南栄町の奄美の里に集合し、車に乗り合わせて、南部清掃工場へ移動し、11:00~12:00までバイオガス施設・高効率発電施設の見学を致します。奄美の里に戻り、12:20~13:00まで食事をして解散となりますのでよろしくお願ひいたします。

②2/11(土)、地区クラブ研修リーダー養成セミナーがホテル中山荘で行われ、小川会長エレクトが出席されます。

③2/18(土)地区チーム研修セミナーが宮崎観光ホテルで行われ、中村聡さんが出席されます。

【ゲスト】

- ・グループホームあさひが丘管理者 水流大樹様
- ・グループホームあさひが丘利用者 古田亜美様
- ・グループホームあさひが丘利用者 岩元賢士様

【ニコニコBOX】

◆水流純大君・森迫直子君
本日のプログラムは「グループホームあさひが丘様」による外部卓話です。どうぞよろしくお願ひ致します。
《ニコニコBOX累計額 ¥129,000-》

【ポリオプラス募金】

・1/12 400円 2/2 100円 2/9 450円
《ポリオプラス募金 累計額 ¥28,605-》

【本日のプログラム】

社会福祉法人落穂会 グループホームあさひが丘

グループホーム管理者 水流 大樹様

「グループホームとは?」

地域の中で、家庭的な雰囲気の下、その人らしく生活できる環境を提供

「グループホーム

あさひが丘の概要」

8つのグループホーム運営

定員: 52名

現在の入居者: 52名(男性: 35名・女性: 17名)

職員: 31名



19歳から70歳前半の方々が共同生活を送っており、支援員・世話人が生活の支援を実施。

日中は、それぞれ職場や福祉施設に通所している。

「我が家」のように安心して生活できる環境づくりを目指しています。

「グループホームの目指す姿」

経営理念: 共生と共創

~だれもが生まれてきてよかったと思える共生社会を創造する~

経営ビジョン: 笑顔輝く、明日へ

グループホームあさひが丘 共通の目的

地域の中で利用者が安心して暮らしを営みながら

自分らしく生きている

- ・地域交流の推進
- ・安心して暮らしを営む
- ・利用者の満足度を上げる

合い言葉: 職員(自分)が生活したくなる
グループホーム

グループホームあさひが丘利用者 岩元賢士様

「僕はつばさ丸の生活、16年目」
グループホームに入って16年目になります。



休みの日には、去年購入した任天堂スイッチをしています。マリオメーカーとマリオカートデラックス8のゲームをします。つばさ丸はネット工事がまだ完了していません。ネット工事が完了したら僕はインターネットでゲームをしたり、ネット注文をしたいです。プラモデルに塗料を塗ったり、紙やすりでこすって綺麗にするのが楽しいです。部屋中に飾り、ほこりが付かないように毎日掃除をしています。

「岡之原新聞」と「コケッコ新聞」も書いています。新聞は3ヶ月に1回出しています。

昼の仕事は「ワークステージつばさ」に行っています。朝7時にはホームを出てバスと電車で通所しています。

加治屋町で電車に乗り換えて純心学園の電停で降ります。仕事は洗い場でクリップ止めをしたり、大型洗濯機の係をしています。僕はまだ、クリーン班の仕事をしたことはないのでレベルアップできるように頑張りたいです。

仕事帰りに紀伊国屋とくまざわ書店で本を見るのが楽しいです。ビッグカメラでトミカを見るのも楽しみです。

夏と冬の長い休みには串木野の自宅に帰ります。中央駅でご飯を食べて、お父さんとお母さんにお土産を買います。

自転車とタブレットとデジタルウォッチも欲しいのでお仕事を頑張って貯金をして買えればいいなと思います。

これからも「つばさ丸」や「ワークステーションつばさ」のみんなと仲良く生活していきたいです。

ありがとうございました。

2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ 「IMAGINE ROTARY」

第2730地区スローガン「知力を高め 未来に繋げ 多様性あるロータリークラブの実現に」
クラブスローガン 「笑顔輝く明日を創ろう！」

グループホームあさひが丘利用者 古田亜美様

私は「グループホームももか」で生活している古田亜美です。



平成17年からあさひが丘学園で暮らし始めました。当時、13歳だった私は、学園から河頭中に通ってました。学校から帰ると2人部屋で自分一人の時間は少なく、いつも友達と喧嘩になり職員と話し合ったり、交換ノートをして自分のモヤモヤを聞いてもらったのも今ではいい思い出です。

私は平成23年からグループホームで生活しながら、30歳になった今は、南国殖産で働いています。私の仕事内容は、主に草刈りやパーキングの清掃、ポスティングです。最近では、月に1回本社に行き、年末になると挨拶状を折る作業をしています。スタッフ9名と上司が3名と一緒に仕事をしています。今の南国殖産の仕事に行くようになり、早いもので9年目になりました。一日、8時間働いています。仕事場では、上司に相談をして、聞いてもらっています。

毎月お給料を頂き、欲しいものを買っています。去年は、アイフォンデビューとゲームのスイッチ、クリスマスは自分へのご褒美にウォークマン、イヤフォンを買いました。また、これからもお仕事を頑張ってほしいものを買いたいです。

私は人の事が気になって人の悪い所を見てしまいます。しかし、皆にも、出来る事、出来ない事もあるから私は人の事は言わず、人と比べないようにしました。最近では、職員から変わったね、成長したねと言われることが増えました。それは、ここ2年間の出来事です。

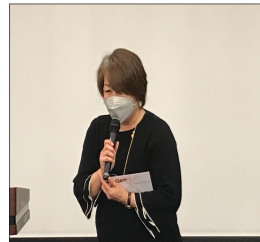
また、最近は一とつきのお金の管理をする練習をしています。去年は風邪をひいたりして体調を崩して病院へ行くことが多かったのですが病院代が沢山かかるのを知りました。だから、体調をしっかりと管理をしていかないといけないなと思いました。

いつか貯金が沢山たまって自分の事ができるようになったら1人暮らしや結婚が出来たらいいなと思っています。

私には、甥っ子がいます。甥っ子に、洋服、マスクを買ってあげています。ゴールドenウィークやお盆休み、お正月にはお家に帰っています。たまに、お家に帰ったりすると甥っ子が可愛いです。甥っ子に癒されています。

それまではグループホームで暮らしながら、自分のこともしっかりできるように職員に相談をしながら、これからも頑張っていきたいと思います。

毎日、笑顔を心がけてみたいと思います。
ありがとうございました。



《ロータリークイズ NO.20 回答・解説》

答え・・・②東京RCの会員の顔ぶれ

解説・・・設立当初の東京RCは会員のほとんどが財界の大御所で占められており、選び抜かれた大企業の社長や重役といった顔ぶれが並んでいた。さらに、それが本来会員が果たすべきクラブ内の仕事を事務局員任せにするという悪い習慣を日本中に広げる原因ともなった。

次回(第1159回)例会のお知らせ

日時：2023年3月2日(木)12:30~13:30
場所：ホテルレクストン鹿児島
プログラム：米山奨学生卓話 王家怡さん

＜その後の3月プログラム＞

- ・3/9(木) クラブフォーラム (奉仕プロジェクト委員会)
- ・3/16(木) ロータリー大学③・夜間例会

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第1157回2月9日(木)	45(43)	26	60.47

市内他RC例会プログラム

- ★は、記帳受付有り (ホームクラブ例会場)
- 鹿児島RC 2/17(金) My Rotaryの登録の仕方について
 - 2/24(金) ゲスト卓話
アートディレクター 小山田裕彦様 (山形屋)
 - 鹿大7がでみ-RC 2/17(金) 会員卓話 (稲盛記念館)
 - 中央RC 2/20(月) 会員卓話 (山形屋)
 - 2/27(月) 情報集会報告 (レクストン)
 - 令和RC 2/27(月) 会員卓話 (レクストン)
 - 東南RC 2/21(火) 新入会員卓話 (サンロイヤル)
 - 城西RC 2/28(火) 会員卓話 (レクストン)
 - 南RC 2/22(水) 祝日休会 (サンロイヤル)
 - 西RC 2/22(水) クラブ協議会(60周年記念事業) (山形屋)
 - 西南RC 2/22(水) 夜の例会(創立記念日例会) (イベント)
 - 東RC 2/23(木) 祝日の為例会取消 (レクストン)
 - 北RC 2/23(木) 祝日休会 (アートホテル鹿児島)